

# 「流域治水プロジェクト」の策定について

# 流域治水プロジェクトの事例 (令和元年東日本台風関連7水系緊急治水対策プロジェクト)

## 令和元年東日本台風関連 7水系緊急治水対策プロジェクト

【令和2年度版】

- 令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した7水系において、国、都県、市区町村が連携し、今後概ね5～10年で実施するハード・ソフト一体となった「緊急治水対策プロジェクト」を進めています。
- 令和2年度は、決壊箇所の本格的な災害復旧や、河道掘削等の改良復旧を進めていきます。

### 全体：7水系

#### ■河川における対策

約5,424億円(国:4,302億円、県:1,122億円)

災害復旧 約1,509億円(国:683億円、県:826億円)

改良復旧 約3,915億円(国:3,619億円、県:296億円)

※県の改良復旧事業等の新規事業採択により事業費が追加されました。  
※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

#### 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト 約1,768億円

##### ■ハード対策

- ・河道掘削、遊水地、堤防整備

##### ■ソフト対策

- ・田んぼダムなどの雨水貯留機能確保
- ・マイ・タイムライン策定推進 等



千曲川左岸58k付近

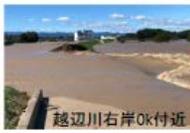
#### 入間川流域緊急治水対策プロジェクト 約338億円

##### ■ハード対策

- ・河道掘削、遊水地、堤防整備

##### ■ソフト対策

- ・高台整備、広域避難計画の策定 等



越辺川右岸0k付近

#### 多摩川緊急治水対策プロジェクト 約191億円

##### ■ハード対策

- ・河道掘削、堰改築、堤防整備

##### ■ソフト対策

- ・下水道樋管等のゲート自動化・遠隔操作化 等



多摩川右岸20k付近

#### 吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクト 約271億円

##### ■ハード対策

- ・河道掘削、堤防整備

##### ■ソフト対策

- ・浸水想定地域からの移転・建替え等に対する支援 等



吉田川左岸20k9付近

#### 阿武隈川緊急治水対策プロジェクト 約1,840億円

##### ■ハード対策

- ・河道掘削、遊水地、堤防整備

##### ■ソフト対策

- ・支川に危機管理型水位計及びカメラの設置
- ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画展開 等



阿武隈川左岸98k6付近

#### 久慈川緊急治水対策プロジェクト 約350億円

##### ■ハード対策

- ・河道掘削、堤防整備

##### ■ソフト対策

- ・霞堤等の保全・有効活用 等



久慈川左岸34k付近

#### 那珂川緊急治水対策プロジェクト 約665億円

##### ■ハード対策

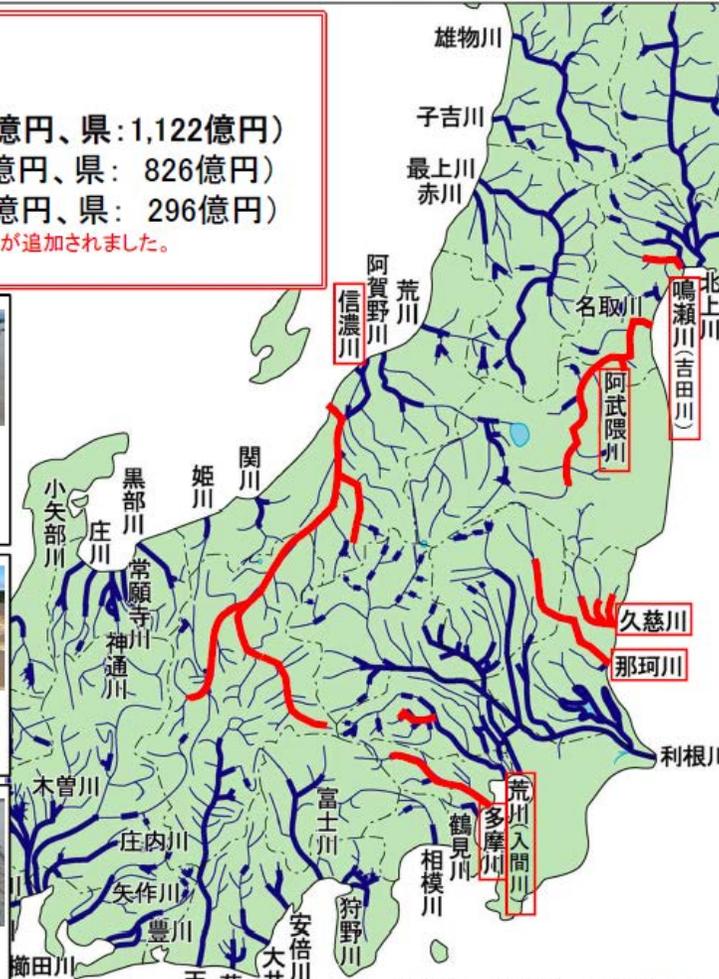
- ・河道掘削、遊水地、堤防整備

##### ■ソフト対策

- ・霞堤等の保全・有効活用 等



那珂川右岸28k6付近



※今後の調査・検討等により追加・変更がある。

# 流域治水プロジェクトの事例 (令和元年東日本台風関連7水系緊急治水対策プロジェクト)

## 阿武隈川緊急治水対策プロジェクト

【令和2年度版】

～本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策～

- 令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した阿武隈川において、国、県、市町村が連携し、「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」を進めています。
- 国、県、市町村が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、より水害に強いまちづくりを目指します。
  - ①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】
  - ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】
  - ③減災に向けたさらなる取り組みの推進【ソフト施策】
- 令和2年度は、決壊箇所の本格的な災害復旧や、河道掘削等の改良復旧、危機管理型水位計・カメラの整備（流域対策、ソフト施策）を進めていきます。



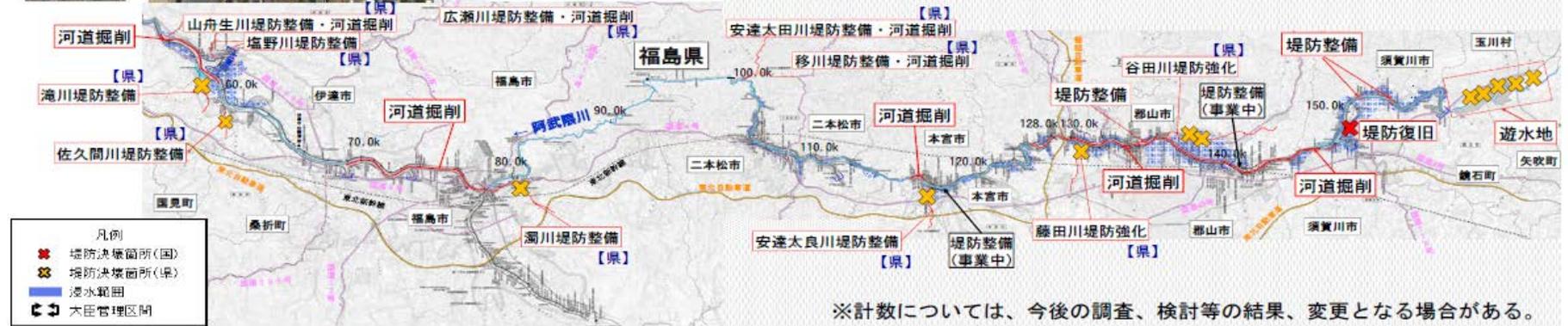
河川における対策

■全体事業費	約 1,840億円
【国: 約 1,444億円、県: 約 396億円】	
■災害復旧	約 542億円
【国: 約 229億円、県: 約 312億円】	
■改良復旧	約 1,298億円
【国: 約 1,214億円、県: 約 84億円】	
■事業期間	令和元年度～令和10年度
■目標	令和元年東日本台風洪水における本川からの越水防止
■対策内容	河道掘削、堤防整備等

※県管理河川における新たな事業採択により事業費が追加されました。

- 流域における対策
- ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画の展開
  - ・一時貯留施設の設置

- ソフト対策
- ・バックウォータ現象を考慮した危機管理型水位計及びカメラの設置及び避難体制の構築
  - ・中小河川や内水を考慮したタイムライン策定推進



※計数については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある。

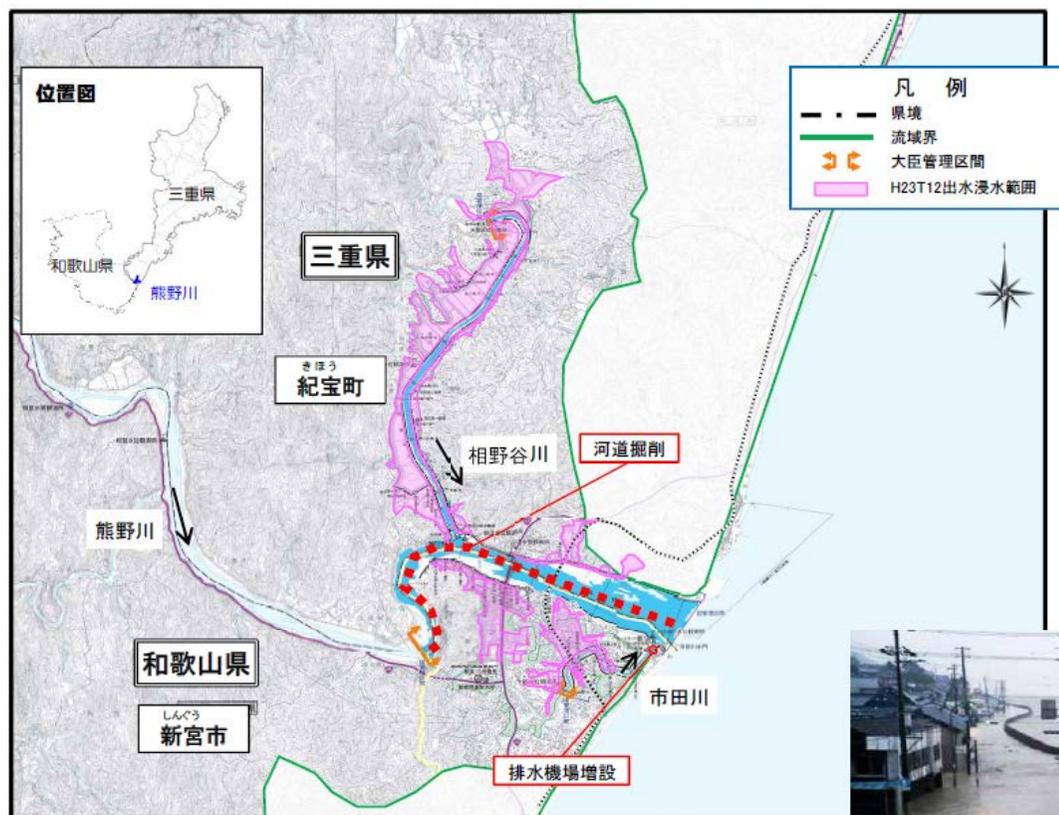
# 流域治水プロジェクト素案

## ■新宮川水系での「流域治水プロジェクト」(令和2年7月6日 日本省HP記載)

### 新宮川水系流域治水プロジェクト (素案)

～紀伊半島大水害の再度災害防止に向けた治水対策推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、新宮川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の平成23年9月洪水(紀伊半島大水害)と同規模の洪水においても、資産が集中する本川下流部の新宮市市街地、紀宝町市街地においては、堤防からの越水を回避するとともに、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

#### ■河川における対策

国の対策内容 河道掘削、市田川排水機場増設 等  
※今後、関係機関と連携し、県管理区間の河川改修を追加予定

#### ■流域における対策のイメージ

・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備  
・既存ダムの洪水調節機能の強化  
・土地利用規制・誘導(災害危険区域等) 等  
※今後、関係機関と連携し対策検討

#### ■ソフト対策のイメージ

・水位計・監視カメラの設置  
・マイ・タイムラインの作成 等  
※今後、関係機関と連携し対策検討



平成23年台風12号での熊野川の浸水状況  
(熊野大橋左岸側)



平成23年台風12号での相野谷川の輪中堤(特殊堤)の  
転倒状況(高岡地区)

# 今後のスケジュール（案）

令和2年7月6日（本省HP記載）  
「流域治水プロジェクト（素案）」←国管理河川での対策案



令和2年8月～9月  
県管理河川も含め対策の検討



令和2年9月頃  
「流域治水プロジェクト（中間とりまとめ）」を公表

河川における対策  
流域・ソフト対策の方向性



令和3年3月末目標  
「流域治水プロジェクト」を公表